

寺報

龍正寺

日なた 112号

良ハ花を

咲せむには

土を作る事が

大切である

日延



<平成29年 9月>

宝龍会
護持会

御彼岸 往職一言

御彼岸の月を迎えました。彼岸は9月20日(水)入
9月23日(土)中日 9月26日(火)明けです。

暑くも寒くも彼岸までと昔しかから言れています。日
本独特の習慣で季節の変わり目でもあります。

煩悩や迷いに満ちた、この世の「此岸」から悟りの
世界、仏の世の「彼岸」へ到達する為に、善行を行い先祖
に報恩感謝を表す時です。日頃は忙しくなかなか出
来ない人が多いのではないのでしょうか。お彼岸の期間には
精進なさいと願った一週間です。

御彼岸の中日は昼夜の長さが等しく、真東から日が登
り、真西に日が沈むのです。また 中日は「国民祝日に
関する法律」に春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくむ」
秋分の日「先祖を敬い、亡くなった人をしのぶ」とあります。
仏教の世界でなくどんな人々も、自分自身の御先祖、亡くなった
人を偲んで、感謝の気持ちを持つ事が大切かと思ひます
私たちは、欲とともに生活していると思ひます、もっと良い生活
がしたい、出世したいと色々な欲を持ちます。私たちの住む

世界を此岸・仏様の住む世界を彼岸と言います。
この間には、大きな煩惱と言う川が流れています。
この煩惱の川は、いわゆる欲の川です。この川を渡ら
なくては彼岸へ行くことは出来ません。渡るにはまず欲
を捨てなければなりません。しかし自身、家族、知人の
健康や日々の安定した生活を望むのは当り前のことで、
これに欲ではなく願いの「だ」と思っています。

彼岸に渡るには、六波羅蜜の修行が第一かと思えます

1. 布施 — (施しを可る事)
2. 持戒 — (戒律を守る事)
3. 忍辱 — (不平不満を言わず耐え忍ぶ事)
4. 精進 — (精進可る事)
5. 禅定 — (心を安定させる事)
6. 智慧 — (眞実を見ぬ、智慧を働かせる事)

修行することにおいて、自分本位の生き方を捨てた時、
相手を思う心になった時、此岸から彼岸へと
渡れます。

— 南無妙法蓮華経 —

— 偶然？必然？それはお導き —

9月になり朝晩はしっかり秋らしくなりました。

気がつくと今年もあと4ヶ月になりましたね。

何もしないうちに1年が過ぎてしまいそんな日々でしたか、お盆に偶然か必然かという経験をしました。

それは、お盆の入り前に早々に準備をしていたころへ

息子の嫁と子供達が遊びに来てくれました。

いつも仕事で留守がちなので、なかなかゆっくりと一緒に時間を過ごす事ありません。

仏壇の前で小さな孫達と身重のお嫁さんと三世代で御先祖様のお迎えの準備が出来る事に大きな喜びを感じました。

しかし、それだけではありませんでした。

棚経の日の事です。御住職が来られる数分前に息子が「お上人さんが来られたら、一緒にお参りさせてもらうね。」と声をかけてくれました。その会話中に、主人の姉達が突然、「お参りに来ました」と来てくれました。

本当にびっくりでした。これは偶然？ 必然？。

これは御先祖様のお導きだと思いました。読経中も胸がいはいになり、きっと主人の父母、御先祖様も喜んで下さっていると思いました。

お経がおわり、みんなでお墓参りをしました。

主人が姉達とお墓参りをしたのは7年ぶりになります。

きっと父母もお墓へ姉弟三人がお参りしている姿に、喜んで下さっていると感じました。

このお導きはまた終わりではありませんでした。

お盆明けに、仕事を早めに上がって、片づけようと帰宅すると、息子の嫁と子供達がまた遊びに来てくれました。

「お盆の準備の時と同じだな〜。」と思っていると、娘が子供を連れて遊びに来てくれました。

孫達は盆ちょうちんの部品を箱の中に入れたり、おりんや木しょうを叩いたり、それはにぎやかでした。お嫁さんと娘は身重な体で、これから産まれて来る我が子の話にも楽しそうにしていました。

みんなでお先祖様をお見送りする事が出来ました。

このような出来事こそが、本当の供養になると思いました。

これは偶然ではなく必然です。

片づけ終わると、誰か、声をかけるわけでもなく仏壇の前で御題目を唱えました。孫達も順番におりんを叩き、小さな手で合掌。「南無妙法蓮華経」と、言葉にならない御題目ですが、この御題目は最高の報恩感謝であり、供養になりました。

御先祖様あつての私達です。そして子孫があるからこそ先祖供養していく事が出来ます。

もうすぐ秋季彼岸です。

ご先祖様の御供養をしましょう。

心から報恩感謝しましょう。

御先祖様はいつも私達を見守って下さっています。

☀️ 夏休み ☁️

長いようであつた、という間だった夏休みも終わり、
新学期が始まりましたね!!

夏休みと言えは、ラジオ体操にプール、私か子どもの頃は毎日のようにあつた行事でした。今はその日数も減り、ラジオ体操は約2週間、プールは10日間程しかありません。夏祭りも活気がなくなつてきたように思います。

先日、こんなニュースを目にしました。早朝のラジオ体操の音が騒音だとの苦情が出たため、各々でラジオからイヤホンで音を聞き、静かに体操をしている、何ともおかしい様子でした。昔はラジオ体操の歌を聞くと、「夏休みが始まったなあ」とか、子ども達の声を身にしてええをもらつたり、ラジオ体操でたくさんの世代の方々と交流できたものでした。当番の問題で日数を減らし、大人の都合で良い習慣が減ってしまうのは悲しいことですね。

近所の方にも、子どもの遊びに口を出したり、いい顔をさす方々が見えます。自分も子育てしてみえていたにしろ、何故? ... と考えてしまいます。

自宅に度々もたふいで、少レ外に出て遊ぶという日が少なくなつてしまいました。どんどん時代も変わり、外遊びも減り、今はネット社会。とても便利で、動画なども面白いものが沢山あります。将来なりたい職業の上位に「ユーチューバー」がランクインしている程です。全然、悪い訳ではありませんが、個人的には、外で「ええに遊ぶでほしいタイプ」なので、はまりすぎたよ様に気を付けています。

少子化の問題も深刻です。子育ては大変な事も多いですが、その分、子ども達が喜びや幸せを沢山お返ししてくれます。最近はその感じる事がとても多く、子ども達に夫婦で感謝しています。

もともと、子ども達が「ええ一杯、楽しく過ごせる社会」になつていくことを願っています。

< 9月の行事予定 >

9月13日(水) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
龍口法難会

9月18日(月) 10:00~ 鬼子女尊神) 祈禱会
七面大明神)
七面大明神大祭法要

9月23日(土) 13:00~ 彼岸中日法要会

< 住職の予定 >

9月10日(月)~11日(月) 山梨石和にて回窓会

< 9月の予定 >

9月3日(日) 13:00~ 役員会

6日(水) 各々の時間で" 清掃 準備

↓ ↓ ↓

12日(火)

13日(水) 法要後 片付け 準備

14日(木) 各々の時間で" 清掃 準備

↓ ↓ ↓

17日(日)

18日(月) 法要後 片付け 準備

19日(火) 各々の時間で" 清掃 準備

↓ ↓ ↓

22日(金)